

広報

かわにし

平成元年 9/10 No.373

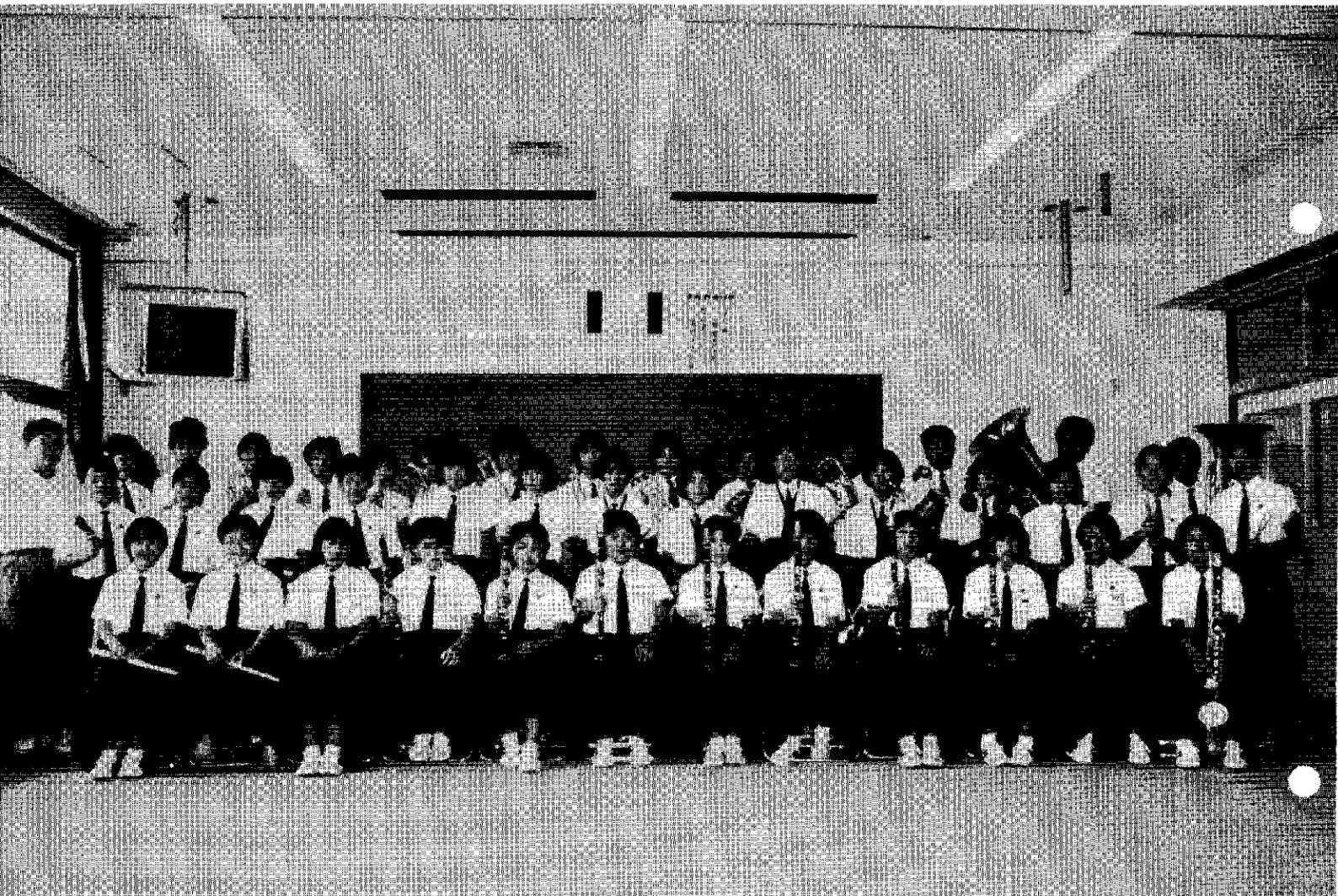
〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 9月1日現在 —	
男	4,534 (-6)
女	4,590 (-4)
計	9,124 (-10)
世帯数	2,273 (+3)
()は前月比較	



美しい響き

初の関東大会出場

8月7日、長岡市立劇場で開かれた全日本吹奏楽コンクール県大会で、川西中学校がみごと金賞を受賞、初の県代表に輝きました。

関東大会は、9月17日に宇都宮市で開かれます。演奏曲は、「呪文と踊り」という早いテンポの舞曲です。担当の宮口先生は、「むずかしい曲ですが、魅力のある曲です。」と、話していました。(メンバーは、2ページに掲載)



休日救急医

- 9月15日 至誠堂医院(西浦町) ☎52-3276
- 17日 山口医院(袋町中) ☎52-2174
- 23日 庭野医院(寿町) ☎52-2711
- 24日 中条病院(中条) ☎57-3018
- 10月1日 第二藤巻医院(上野) ☎68-2018
- 8日 大坪医院(四日町) ☎57-6100
- 10日 至誠堂医院(西浦町) ☎52-3276

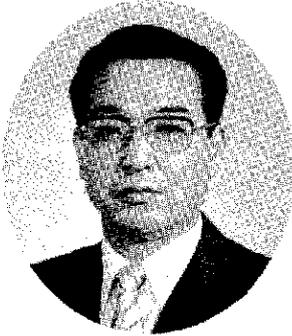
常任委員会

◎委員長 ○副委員長

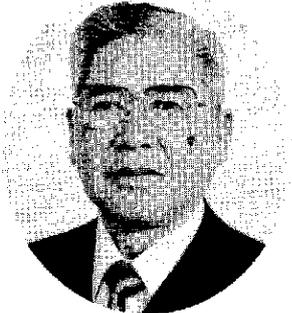
総務文教委員会

産業厚生委員会

建設住民委員会



戸田 哲次



平野 正義



小海 貞二

◎戸田 哲次 ○上村 広治
北村 公男 南雲 教
清水 進 小林 寅雄

◎平野 正義 ○柄沢 悌二
高橋 幸一 水品 忠雄
富井相四郎 高橋 重
田口 直人

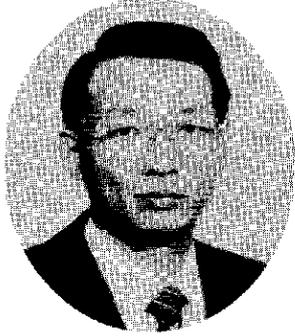
◎小海 貞二 ○根津健治郎
羽鳥 力夫 柳 藤作
桑原 要雄 滋野 一郎

特別委員会

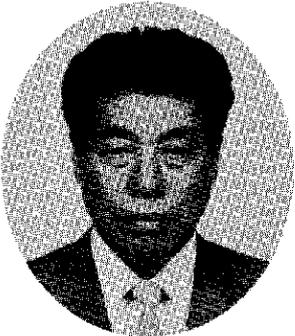
◎委員長 ○副委員長

克雪対策委員会

信濃川発電所対策委員会



田口 直人



滋野 一郎

◎田口 直人 ○柳 藤作
高橋 幸一 水品 忠雄
根津健治郎 柄沢 悌二
上村 広治 桑原 要雄
平野 正義

◎滋野 一郎 ○清水 進
北村 公男 羽鳥 力夫
南雲 教 富井相四郎
高橋 重 小海 貞二
戸田 哲次 小林 寅雄

■十日町地域広域事務組合

議員

南雲 教 根津健治郎
平野 正義 押木 元男

■十日町市川西町衛生施設

組合議員

柄沢 悌二 平野 正義
押木 元男

■監査委員は 柳藤作さん

町監査委員のうち、議会議員の中から選任された人は、柳藤作さんです。

■教育委員会委員に

宮啓一さん(山野田)が再任されました。

臨時議会 報告

八月十二日、改選前の議員構成での最終議会、第五回町議会臨時会が開かれました。議案は二つの工事請負契約などです。中学校に併設される、学校給

食共同調理場の、ちゅう房設備機器工事は、四、五三二万円で、ヤマト厨房、孫六共同企業体、町道山野田下平線改良工事は、五、一五〇万円、加賀田組、吉楽土建共同企業体がそれぞれ請け負うことになりました。
続いて、克雪対策特別委員会から「雪にかかわる総合的対策」、信濃川発電所対策特別委員会から「信濃川水力発電再開発工事にかかわる諸問題の総合的対策」について、委員会の審査経過が報告されました。



川西中学校南校舎に併設される
学校給食共同調理場の工事現場

祝

敬老

老人週間（九月十五日～二十一日）にちなんで、町と県から七十五歳以上の七三六人に、敬老祝い品が贈られます。

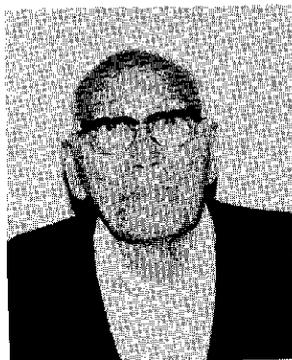
なかでも、九十歳（卒寿）八人と、九十五歳の二人には、九月十五日「敬老の日」に、町長が各家庭を訪問し、直接お渡しすることになっています。

九十歳の方は、次のとおり。

— 敬称略 — 野上ヤス（栄町）
 星名ハマ（木島）、上村米作（上野）、渡辺イト（上野）、小林トキ（新町新田）、中村カ子（野口）、数藤トク（原田）、高橋孫市（高倉）

— 95歳のお二人 —

小川駒治さん（岩瀬）
 [明治27.10.20生]

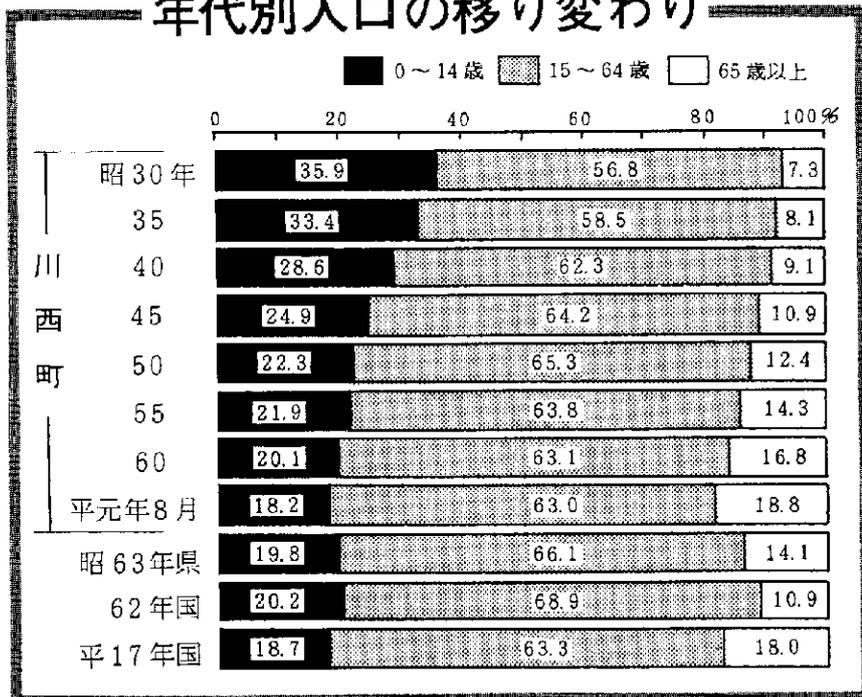


阿部トワさん（木島）
 [明治27.7.21日生]

お贈りする祝い品

年齢	該当人数	祝い品名
75歳以上	736人	お茶の詰め合わせ
77歳	77	祝い菓子
80歳	72	長寿者湯飲み
88歳	15	祝い菓子、バスタオル
90歳	8	タオルケット
95歳	2	祝い菓子、ひざ掛け

年代別人口の移り変わり



このグラフは、人口を三つの年代に分けた割合(%)を示したものです。昭和30年には、0歳から14歳までの人口が全体の35.9%、65歳以上が7.3%でした。

それがことし8月には、0歳から14歳までと、65歳以上とがそれぞれ18%台になりました。町のこの状態は、国が将来を推計した中で平成17年に到達する状況に近くなっています。

また、総人口に占める65歳以上が10%を超えたのは、町では昭和45年、国では昭和60年です。15年も早いスピードで、町は高齢化していることとなります。

資料……総務庁「国勢調査報告」、厚生省「日本の将来推計人口」

労働時間を短縮

社会情勢の変化に対応

昭和二十二年（一九四七）に労働基準法が制定されました。この法律で封建時代からの徒弟制度やでっち奉公が禁止され、以来、労働者の立場が守られてきました。

しかし、当時とは比較にならないほど経済が発展し、社会情勢が変わってまいりました。いまの法律のままでは、いろいろな都合がでてくるようになりま

したので、ご承知のように昭和六十二年四月一日、四十年ぶりにこの法律の一部が改正されました。主な内容は、①法定労働時間の短縮 ②各種変形労働時間制度の導入 ③年次有給休暇制度の改善などです



1日の勤めを終えて帰るご婦人たち
— 8.25 下平新田で —

週48時間から

40時間へ

● 法定労働時間の短縮

法改正の第一は、法定労働時間の短縮です。

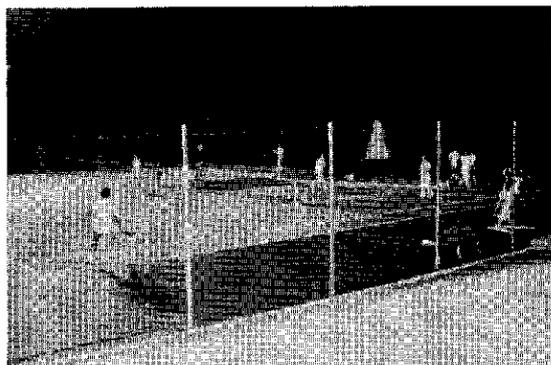
週四十八時間制を、欧米諸国並みの週四十時間制にまで引き下げようというものです。しかし、日本の企業の大部分が中小企業ということもあり、いきなり週四十時間にするには無理があります。そこで、段階的に改

めていくことになっていきます。当初は週四十六時間制が実施され、週四十時間制への移行は、一九九〇年代前半を目標としています。

労働時間の短縮は、次のようなメリットにつながると考えられています。

①労働者福祉の増進

②長期的にみた雇用機会の確保
③経済構造の調整、内需拡大



庚塚運動場の夜間テニス

● 各種変形労働時間制の導入

変形労働時間制とは、業務の繁忙などで、ある週が四十六時間の法定労働時間を超えても、外の週と平均して法定労働時間の範囲であればよいという制度です。

看護婦やタクシードライバーの方々は、一日八時間以上働かなくてはならないことがあります。この場合、一か月を単位とした変形労働時間を採用できるようにしました。

また、季節によって業務に繁

年次有給休暇が

最低 6日 → 10日に改善

閑の差がでる事業は、三か月単位とすることもできます。もちろん、平均労働時間を週四十時間以下にしなければなりません。それに、いくら忙しい時期でも一日十時間、週五十二時間を超えることはできません。

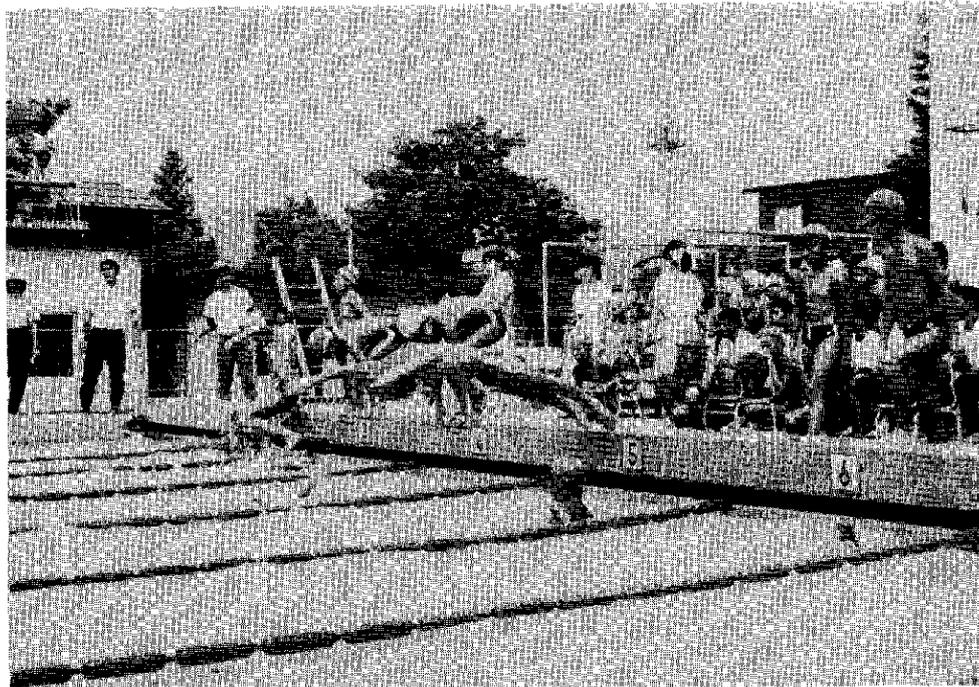
年次有給休暇の最低日数が、六日から十日に引き上げられました。一年間勤務した場合、十日、次年度以降は一日ずつ加算されて、最高二十日ということになります。

ただし、規模が二百人以下の事業所は、猶予措置があります。最低付与日数は、平成三年三月三十一日までは六日、同六年三月三十一日までは八日となっています。

会結果

8月8日

千手小学校プール



5年男子メドレーリレー

5年50メートル背泳ぎ

- ①清水俊樹(千手) ②星名清貴(同) ③柄沢大輔(同)

6年同

- ①関口昌生(千手) ②高橋勲(同) ③上村到(上野)

5年25メートルバタフライ

- ①山本章人(橘) ②滝井工(同) ③藤巻和人(同)

6年同

- ①富井隆暢(上野) ②関雅夫(千手) ③小林一則(仙田)

5年50メートルバタフライ

- ①沢潟誠也(千手) ②星名康宏(同) ③若山英樹(上野)

6年同

- ①関雅夫(千手) ②上村到(上野) ③田中光倫(千手)

5年個人メドレー (100メートル)

- ①清水俊樹(千手) ②柄沢大輔(同) ③大久保雅基(橘)

6年同

- ①小林正英(千手) ②高橋将文(上野) ③高橋裕也(仙田)

【女子】

5年200メートルメドレーR

- ①千手A(関口千亜紀、佐藤有子、高橋ルミ子、清水喜美子)

- ②千手B(春日景子、丸山由加里、柄沢英理子、高橋里美)

- ③千手C(蔵品育美、佐藤奈美子、相崎真理子、中村早苗)

6年同

- ①千手A(田中美里、星名恵美子、横山友美、星名真弓)

- ②千手B(高橋和香子、斉木恵美、数藤ひろみ、五十川麗子)

- ③仙田(南雲さおり、高橋典子、米山幸子、高橋聖美)

5年200メートルR

- ①千手A(高橋ルミ子、高橋里美、関口千亜紀、清水喜美子)

- ②千手B(柄沢英理子、春日景子、佐藤奈美子、相崎真理子)

- ③千手C(丸山由加里、中村早苗、羽鳥有香理、佐藤有子)

6年同

- ①千手A(五十川麗子、田中美里、星名恵美子、星名真弓)

- ②橘A(村越広子、藤田希美子、池竹宏美、中川靖子)

- ③上野A(斎藤純子、大浦美佳、上村尚子、内山織絵)

5年50メートル自由形

- ①清水喜美子(千手) ②高橋恵(上野) ③須藤尚子(橘)

6年同

- ①星名真弓(千手) ②大浦美佳(上野) ③村越広子(橘)

5年100メートル自由形

- ①清水喜美子(千手) ②高橋恵(上野) ③高橋ルミ子(千手)

6年同

- ①五十川麗子(千手) ②中川靖子(橘) ③村越広子(同)

5年50メートル平泳ぎ

- ①高野五月(仙田) ②佐藤有子(千手) ③丸山由加里(同)

6年同

- ①星名恵美子(千手) ②斉木恵美(同) ③斉藤純子(上野)

5年100メートル平泳ぎ

- ①佐藤有子(千手) ②春日景子(同) ③丸山由加里(同)

6年同

- ①横山友美(千手) ②星名恵美子(同) ③斉木恵美(同)

5年50メートル平泳ぎ

- ①関口千亜紀(千手) ②佐藤奈美子(同) ③須藤尚子(橘)

6年同

- ①田中美里(千手) ②内山織絵(上野) ③米山幸子(仙田)

5年25メートルバタフライ

- ①佐野千恵望(白倉) ②相崎真理子(千手) ③高橋ルミ子(千手)

6年同

- ①南雲さおり(仙田) ②大浦美佳(上野) ③中川靖子(橘)

5年50メートルバタフライ

- ①佐野千恵望(白倉) ②相崎真理子(千手) ③高橋ルミ子(同)

6年同

- ①南雲さおり(仙田) ②数藤ひろみ(千手) ③五十川麗子(同)

5年個人メドレー (100メートル)

- ①関口千亜紀(千手)

6年同

- ①星名真弓(千手) ②内山織絵(上野) ③池竹宏美(橘)

夫婦で子育て

よその人が自分の家に来たりすることが少なくなったということがあります。叔父さん、叔母さんの家に泊まりがけで遊びに行

たたとえば、よその家庭に行ったり、

最近の子供たちがおかれてい生活環境と、自分たちが子供だったころとくらべて、ずいぶん変わってしまっただと思はたくさんいます。

いまの親たちの世代にはもつと多かつたと思います。自分の家に親類の人が泊まりにくることもありました。いろいろな話を聞く機会があったものです。

うです。

経験と心の発達

してしまつたのです。

なんでもないことのようにですが、親、兄弟以外の人と親しく接すること。言葉を変えて言えば、多様な人間関係をもつことが子供の心の発達に必要なこと

き、いとこたちと一緒に生活するとい経験です。

都市の大学生は、幼稚園か小学校のころ、このような経験をした人は、わずか10%だったそ

現在の主婦たちが多忙になつたこと、ホテルが広く普及したこと、親類や知人とのつきあいを煩わしいと思う人が増えたことなどが、これらの機会を少なく

だと思ひます。

同じ三十代の男性でも父親とあの叔父とはどこが違うか、あの叔母の家と自分の家とは雰囲気はどう違うかを知ることができま。親類の人の前では、子供でも自分をよく見せようと努めます。言つていいことといけないことのけじめも、このような機会を通して習得されます。

家庭を単調で、閉鎖的なものにしないうで、子供の年齢ににじて経験の範囲を広げるようにする配慮が、親には期待されるのです。



銀山平キャンプ場ではんごう炊飯の子供たち(8・12)

第19回

町内小学校
親善水泳大

【男子】

5年200メートルメドレーR

- ①橋(大久保雅基、滝井工、山本章人、佐藤貴之)
- ②千手A(清水俊樹、星名茂、星名力成、村山正浩)
- ③千手B(柄沢大輔、清水一、高橋幸、相崎貢一)

6年同

- ①千手A(関口昌生、数藤健太郎、関雅夫、大塚晋)
- ②上野(上村到、清水学、富井隆暢、高橋将文)
- ③千手C(小海基、平沢孝志、風間裕孝、高橋宏和)

5年200メートルR

- ①千手A(相崎貢一、清水俊樹、村山正浩、星名力成)
- ②橋A(佐藤貴之、藤巻和人、滝井工、山本章人)
- ②千手B(星名茂、柄沢大輔、高橋幸、南雲敏之)

6年同

- ①千手A(南雲啓到、小林正英、高橋勲、大塚晋)
- ②上野A(富井隆暢、上村到、清水学、高橋将文)
- ③千手B(関雅夫、高橋宏和、数藤健太郎、田中光倫)

5年50メートル自由形

- ①星名力成(千手) ②相崎貢一(同) ③小熊敦剛(上野)

6年同

- ①大塚晋(千手) ②富井隆暢(上野) ③関口昌生(千手)

5年100メートル自由形

- ①山本章人(橋) ②星名力成(千手) ③村山正浩(同)

6年同

- ①大塚晋(千手) ②高橋勲(同) ③高橋将文(上野)

5年50メートル平泳ぎ

- ①星名茂(千手) ②清水一(同) ③小熊敦剛(上野)

6年同

- ①数藤健太郎(千手) ②高橋宏和(同) ③南雲啓到(同)

5年100メートル平泳ぎ

- ①星名茂(千手) ②清水一(同) ③滝井工(橋)

6年同

- ①高橋宏和(千手) ②数藤健太郎(同) ③水落浩紀(橋)

柏崎日記

その九

岩瀬金子幸作

地震の被災者に会う

千曲川西を小千谷から川辺の村へ急ぐ渡辺平太夫は、山谷組へ近付くにつれて善光寺地震の被災者と行き合うようになる。ウノハナが匂い、野山の線もひとときわ鮮やかな、弘化四年（一八四七）三月二十九日（現在の五月十二日）の午後であった。ジジ、ババ連れの三人が、つえにすがりつがらよろけるように歩いて来る。一人の老婆は片ほおから目にかけて顔がくずれ左の手首が無い。その手を首に釣り、痛そうにふところへ入れうめいている。

蒲原のジサとバサ

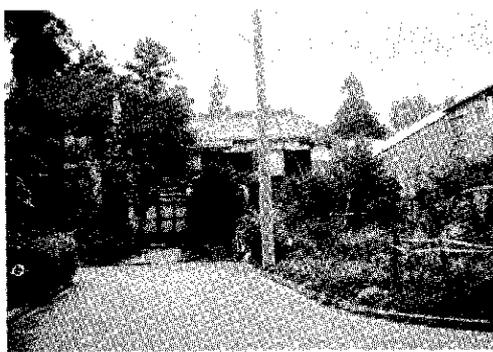
駕籠（かご）の人足供が、「お前方どこの衆だい」と尋ねると「蒲原の者だぜ」と答え、泣き声で次のように話した。

「七人で善光寺様を詣りに行ったら、仲間のうち四人がヤラレテ死に申した。オラは丸はだかで逃げ出したが、この様を怪我をし、命からがら歩いて来た。途中で、在の衆から襦袢、ふん

どし、杖、笠をもらい、飯まで食わせてもらい、もらいしてやつとここまでたどり着いた。もう、在所から心配して迎ひに来そうなので御座り升。」

善光寺の様子を聞くと、「わからないテ、真黒闇の中を何所とも知らずに駆け出し、夜が明けて大地震と知った」と、まだ目もうつろのようであった。

水の少ない千曲川
真人宿へ着いたら、千曲の川が泥かき立てたように濁っている。



かつての百姓頭田口家
現在の田口一朗さん宅

る。水の量は平水だと思えたが、宿の亭主に聞いてみた。

「二十五、六日（現在の五月八、九日）から水が急に少なくなり、ごうぎ濁った。今日はいくらか澄んだようだが、どうも様子がおかしい。この間の大地震で、信州のどこかに大きな山抜けでもあったのではないか。」

木落村から、村役人と人足供が迎えに来ており、小千谷の人足と交代してすぐに出立した。

木落村の新開場

木落村新開寛政（一七八九）以来見取場三相成候場所にて八九町歩程も有之。千曲川付寄地字外ヶ島と申候。此地会津御預所川之上新田と申村と論所ニ相成、江戸へ出千両もか、り勝二成り候所、右雑用仰山か、り其雑用出入にて先年私とも久敷吟味致し、御裁許ニ相成。

村方割合出し分不残柏崎町本陣町年寄長井与次右衛門引受出入片付申候。其代り右之場所新開引受申候。仰山成借財致、江水等遠方より引き新開ニ致候。

其地統同所にて三領村、是も式、三町歩余有之。同様見取場之所、是者上野村御内用達屋名藤左衛門引受新開致し候。

長井之分八長井新田ト唱ひ度

旨願濟ニ相成申候。無程木落村ニか、り候所、庄屋并長井与次右衛門、屋名藤左衛門迎ひ二出ル。庄屋は宿出来不申。百姓頭の内名字御免の田口甚右衛門宅へ泊ル。七ツ半（午後五時）過也。

今夜も外で万座楽

大肝煎酒井忠之助罷出、御用相濟、又地震咄し。先御領分中無難ニ有之候由。川向ひ三里山手へ参り候得ハ大分破損も有之。五里山へ入候而者所々潰れ家も有之候由。善光寺十里四方之騒と被存候杯と申。丹波川上笹川石川と申向村之山厘川へずり出し流れ堰キ留メ候て丹波川一滴も流れ不申。いづれ水抜ケ出し可申川筋村々油断無之様信州筋御代官より触れ達有之候。

左様と相見一日ハ水殊之外減候由、其外何村と歟、一村皆潰れ之上大山抜ケ出、一村山の下ニ相成、一軒老人も助り不申と申風説有之由。誠ニ前代未聞之大変と申聞候。暮相ニ又相成之地震致し候。此村廿四日より毎晩外二居り候由。今夜も皆外二居り候様子也。田所通りか、り候内地震割れ大分有之。柏崎より善光寺へ近き丈些ト強き事と被存候。気味悪ク眠付兼候内、雨ニ成り風出、安堵して眠ル。

四角で広い新田

三月三十日、午前中は雨天で見分を見合わせ、九ツ半（午後一時）ごろ天気になって見分に出る。場所は木落村から四町余も西の、千曲川を三町ばかりへだてた上新田の山の下である。

川が流れ、川原も大分有る新開場は真つ直に平らで、江水路やあぜ道も立派にこしらえてある。一口ごとに四方へ杭を打ち、広くて四角の田が多い。ここ三三年の間作付をした田が全体の三分の一も有るとか、まことに結構な場所といえる。

さつそく検地に取りかかり、一口三、四反歩に分けたら二十二口になった。十五番まで済んだら七ツ半（午後五時）を過ぎ風も出て寒くなり、仕事を仕舞って木落村へ帰った。

田口家のもてなし

田口家へ上つてふるに入り、調べものを少ししていたら夕飯が出た。「そば切り」が塩あんぱいが良くないので食べかねたが、せっかくのごちそうなので無理して二、三杯食べた。海辺に遠くて海の魚はひとつも無いが、その代わりに、川魚を色々に扱って出してくれた。なかなか結構な料理であった。

ふる里訪問

帯広市 長谷川 末良さん
(赤谷出身)



私は、これまでの仕事の区切りと墓参のため、久しぶりで家族とともに帰省しました。交通機関のスピード化によって、上野〜新潟間が近くなったことにより、驚きました。そして、道路が整備され、山頂には送電線塔が幾ルートも走り、県外ナンバーの車も多いことなど、びっくりすることばかりでした。

善意

広報発行に
九山伴四郎さん(足立区)
二万円

まれ育ちましたので、すぐそこに見える山の形や、それに茂る植生すべてが変わって見え、私の懐かしき、思い出と異なった感じで周りの景色を眺めています。いくら山間地にある集落でも私にとっては生まれ育った故郷です。その一つひとつを家族に説明しましたが、これも私の自己満足が大半だったように思われます。

三日間の滞在中、自然の美しさ、方言の懐かしさ、そこに住む人たちの生活の一端に懐かしく浸ってきました。若い世代に確実に継承されていました。これはうれしくもあり、反面、少し寂しい気持ちでもありました。家は新しくなり、道路は舗装され、水道が普及、燃料もLPと近代化され、大変うれしく思いました。

国の農業施策により、減反また減反と続く中で、全国的に名

声高い「コシヒカリ」の生産地として、限りある土地をいかに近代感覚に合致した魅力ある地にしていくかを考えていただきたいと思います。

老化防止に最適 囲碁・将棋に 熱戦



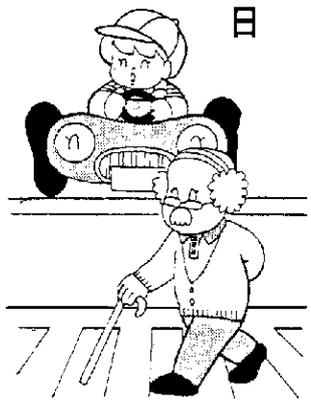
将棋の部リーグ

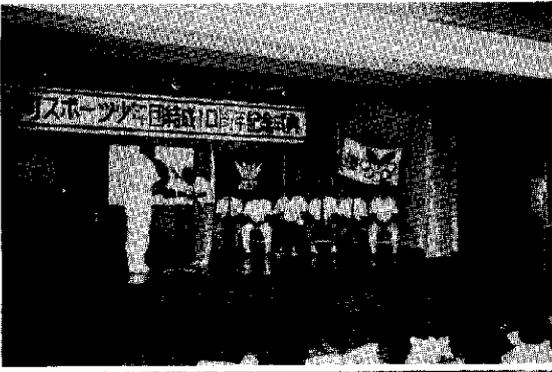
八月十七日高齢者コミュニティセンターで、郡老人クラブ連合会の囲碁・将棋大会が開かれました。

- △囲碁▽
須藤正夫(仁田) 丸山宗太郎(下原) 丸山清治(根深)
- △将棋▽
羽鳥芳蔵(伊友) 星名庄蔵(学校町) 丸山正平(下原)

高齢者交通安全旬間

9月11日
～20日





◀感謝状を受ける
 <左2人目から>
 小川広一 中川喜一
 丸山 隆 広田育郎
 市川松男 数藤孝一
 清水昭平のみなさん。

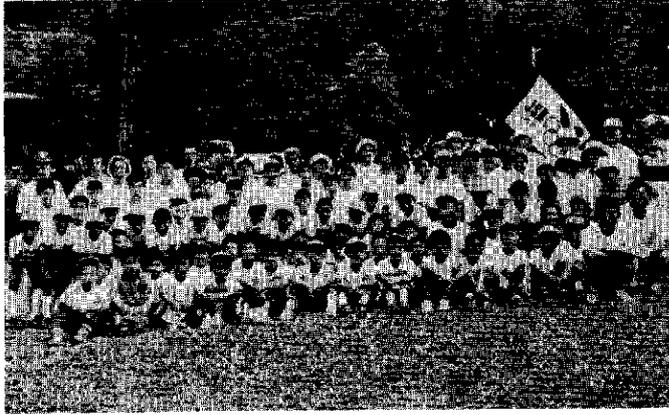
八月十二日午後一時から総合センターで、スポーツ少年団(団員数二百二十人、宮啓一本部長)

…児童・生徒と…
 スポーツを通じて
 ～10年～

結成十周年記念式典がありました。

当日は、恒例の小学生高学年のキャンプ活動に出席する児童と、見送りの保護者らを含む百人余りが列席しました。石沢教育長、金子青少年育成町民会議長代理らの祝辞のあと、創立当時から、同団の育成に尽くされた方々七人に感謝状と記念品が贈られました。

なお、ボランティアともいえる同団の指導には、現在おおよそ二十人の方々が当たっておられます。



▶銀山平キャンプに参加したスポーツ少年団

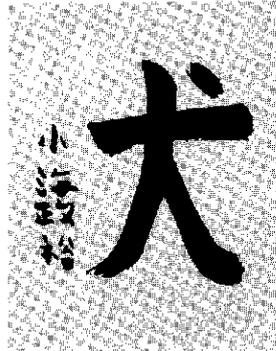
ちいさな展覧会

上野小学校

14



5年 渡辺人志君



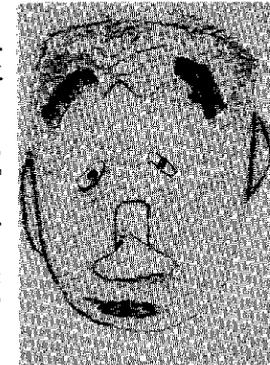
三年 小海政裕君



三年 高橋三子さん



一年 たがはしかずのりくん



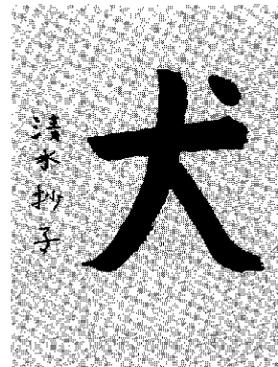
一年 うちやまひろたかくん



5年 押木恵美さん

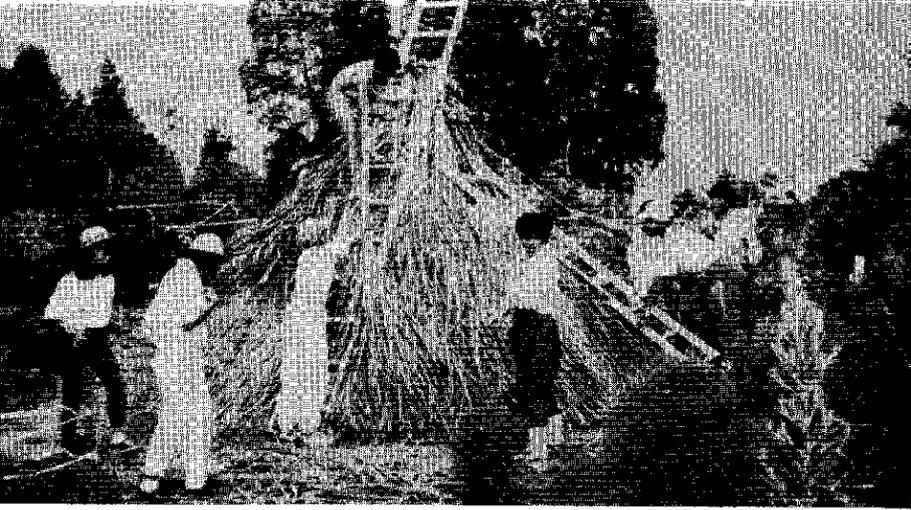


五年 若山英樹君



三年 清水抄子さん

(10月号は橘小学校です)



縦穴式住居が出現

夏休みの中盤を迎えたお盆すぎ、千手小学校の6年生8人が、「縦穴式住居」作りをしていました。

縄文時代の勉強がきっかけで、春先から土器を焼くなどしてきました。長者ヶ原遺跡の近くに作られた縦穴式住居は、丸太を組んでその上を長いカヤでふきます。このカヤを刈るのに2日間もかかりました。

仕上げてから、魚を釣ってきて、中で焼いて食べたいということでした。

「昔の人たちの生活は、ほんとうに大変だったことでしょう…」と、語る子供たち、大むかしのことを知って将来の町を大いに担って欲しいものです。



夏休み最後のプレゼント

八月二十八日、夜七時から松葉荘の屋外ステージで映写会が開かれました。
 パターゴルフコースにシートを引き、ステージの壁に大きく写る映画は、まさに大迫力、大画面です。
 あいにくの小雨でしたが、上映されたアニメや、世界を制したスイマー、古橋広之進物語に百五十人ほどから拍手が送られました。

野外 ナイトシアター

恩給欠格者に銀杯を贈呈

恩給欠格者の方のうち、外地などに勤務した経歴があり、加算年を含めた在職年が三年以上の方には、書状（内閣総理大臣名）を、更に七十歳以上の方には、高齢者の順から銀杯を贈呈することにしました。

お尋ねと、書類は役場住民課まで。
 戦後、ソ連または、モンゴルの地域において強制抑留中、死亡された方の遺族の皆様へ
 ソ連または、モンゴルの地域 へ
 強制抑留中、死亡された方への慰労品の贈呈は、請求しなければなりません。請求のお尋ねと、書類は役場住民課まで。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

田村 伸夫 56 (本人) 鶴 吉
丸山 敏 61 (本人) 下 原
田中 修 65 (本人) 小白倉
数藤 巨 78 (本人) 沖 立
上村 龍平 79 (貞二) 下平新田
田中 光次 82 (基) 小白倉



太田白南風選

○延命地藏やさしき顔の盆の道
○還らざる弟ひとり敗戦忌
○流澄会軽き灯を水に置く

所沢市 池上マサ子
○街路樹の下の縁台氷水
八海の尾根に連なり雲の峰
足立区 山形 頼太

○螻螂の種物を狙う鎌一反らせ
苔の花年代古き石仏
大倉 中条 石平

サンシャイン見上ぐる島の大根葎く
学童の列崩れたる夏嵐
練馬区 須藤 遊人

甚平着て脛の細きを哀しめり
ぶら下がり蜂揺らしては鳳仙花
赤谷 登坂 酔月
展望す妻有平野秋がすみ
城山の松頼に夏惜しみけり
三領 水品 律

高橋 タカ 88 (哲也) 三 領
うぶ声—おすこやかに

星名 立樹 弘行 二男 新町新田
真紀子

星名 美佳 和 幸 二女 伊 友
美枝子

藤巻 知美 進 長女 塩 辛
知雅子

蔵品あゆみ 廣 行 長女 霜 条
和 子

前触れもなく大雷の一つかな
支え木の繩を外れたる秋茄子
霜条 星名 星光

手作りの大きすぎたるちまきかな
思い出のラシヤの軍服虫干す
伊勢原市 金子 桂吉

くちなしは匂いめでたく真白くて
桑の葉に羽化せる蟬のみずみずし
八王子市 田中 ひさ

ひぐらしやぬくもり残る大きな碑
雨あがり弥彦の森の蟬しぐれ
仁田 小幡しん女

鳥追のテープ綾織る稔りの田
遠花火消えたる闇に残る音
高倉 齊木 和人

吹く風に小さき秋を肌を知る
峠より見ゆるわが里出穂の秋
小脇 佐藤 信一

豊作の薯を脊負いて町の娘へ
宝泉寺蓮のロマンの二千年
三領 高橋たかし

新生姜とれて今宵の冷奴
上町 高橋 願似

工藤 祐也 寿彦 長男 発電所
聡美 通西
中村彩也香 吉美 二女 仁 田
由紀子

田口 裕也 秀 樹 長男 木 落
聡 子

山家 成幸 利 光 長男 木 落
ムツ子

尾身 李奈 尚 登 二女 発電所
房 子 通り東

田中 玲奈 敏 彦 長女 県営住宅
かおる

十粒ほど雨落ちしまま遠雷す
小白倉 江口みゆき
萩咲いて展望台の空高し
岩瀬 小川 益栄

広々と早稲の田の面の風わたる
木落 丸山鉄四郎
なつかしき顔あちこちに里の盆
浦和市 登坂 博史

崖紅葉清津の流れ美しく
小白倉 田中 優美

大の字に泳ぎ疲れの子の昼寝
中仙田 仙 蒼 子

秋茄子の皮固くなり朝の冷え
上野 入沢 はや

夾竹桃町の暑さに咲き誇り
八王子市 松浦 サク

あちこちの祭囃子の太鼓鳴る
野口 村越 幸

ボレロ弾く楽士のごとし虫の秋
中屋敷 数藤 壮一
大賀蓮古代の色香秘めて咲く
府中市 野口 東風

過疎の地に帰りに親し盆楽会
熊谷市 齊木 節夫

子育てががんばって

母子推進員制度ができてから
二十年あまりになります。

この仕事に熱意をもってご協
力いただいている方が大勢いま
す。その中から、中屋敷の渡辺
千ヨ子さんをおたずねしました。

○ 母子推進員は現在何人いま
すか。

● 子育てを終わった三十代か
ら、六十歳代までの女性二十
一人です。

○ どんな仕事をしていますか。

● 妊娠中の方や、赤ちゃんの
健康診査を忘れないように該
当する家庭に通知書を配った
り、健診のときに身長や体重
を計るお手伝いをしたりして
います。

○ 母子推進員として感じるこ
とは…

● 通知書を配りながら、子育
ての話をすると、本を読むな
どして勉強しているお母さん
が、いまは多いと感じます。
通知書を届けても、全員の
方が健診を受けないと聞いて
残念に思っています。

○ 日ごろ、子供を見て感じる
ことは…

● 兄弟が少ないせい、親や
周りの人が余計な手を掛けず
ぎていっているのではないでし
ょうか。

● ぞうきんをしぼれない、鉛
筆を削れないといった、手先
の不器用な子供が多いと思
います。

○ お母さん方にひとこと…

● 現代のお母さんは、勤めや
家事と忙し過ぎると思います。
でも、ちよつと抱いたり、
うるさがらずに話をしたりと
いったスキンシップが大切だ
と思います。心が安定し、非
行防止につながるというお話
しも聞きました。時間を見つ
けて、実行してもらいたいと
思います。

